

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年7月8日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900385		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム 千代田の里	ユニット名	たんぽぽ
所在地	〒315-0072 茨城県かすみがうら市東野寺495-1		
自己評価作成日	平成25年1月17日	評価結果 市町村受理日	平成25年7月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0873900385-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0873900385-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年3月28日	評価確定日	平成25年6月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

都市化の進行と、自然豊かな環境を併せ持つ地域の中で、開設以来10年が過ぎようとしている中で、市民の皆様が存在を認識されてきております。入所者様やご家族様にも喜んでいただいております。法人傘下には特別養護老人ホームも多数あり、希望に応じてのサービスを提供出来るようになっておりますし、グループホームも多数あり、お互いに切磋琢磨しサービスの向上を目指しております。関連施設には医療法人もあり、医療に関する相談指導が何時でも受けられる体制が整っております。特に精神医療の専門医師がおり専門的な医療相談が受けられます。又隣接地には医療法人の介護老人福祉施設や保育園があります。保育園との交流や園児が園庭で過ごす姿が毎日見られますので家庭生活の延長のようであります。職員の定着率・学習意欲も高く献身的な介護に努めております。市内には数多くのグループホームが存在しておりますが、入所希望者様に気軽に立ち寄れ、希望が叶えられる施設、地域の皆様選ばれる施設にして参りたいと考えております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は広大な敷地の中に隣接する同一法人運営の保育園と介護老人保健施設との間に立地しているため、敷地内はいつでも自由に散策ができるほか、事業所の庭と保育園の園庭が隔たりなくつながっており、利用者と保育園児が毎日のように交流し、活気ある環境となっている。  
管理者は利用者の支援にあたる際、何事も無理強いはせず利用者がやりたい時にやりたいことができるよう支援に努め、思いを把握する時も利用者の興味のありそうな話を段階的に問いかけるなど、利用者一人ひとりに合った支援を指導している。  
利用者の残存能力を十分に活用して職員の見守りに力を入れる支援で、利用者の能力の向上につなげている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえた法人独自の理念に加えて、棟毎に介護目標を定めている。ホーム内の、誰もが見える場所に、基本理念を掲示すると共に、朝礼で復唱し共有している。	「社会交流・地域の一員として暮らすことをめざす」との地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を基本理念の中の一つに掲げ、職員が出勤時に確認ができるよう玄関や各ユニットの入り口付近の壁、事務室に掲示している。 管理者と職員は朝礼時に理念を唱和し、再確認しながら共有して実践に結び付けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入している。隣接する保育園の園児との交流、小学校の運動会や文化祭、市の敬老会、地域のお祭りに参加している。ホームの行事に地域の方に参加を呼びかけたり、日曜日には道路の清掃作業を行う事により、地域の一員になれるように努めています。	利用者は地域の祭りや近隣の小学校の運動会の「玉手箱」競技に参加したり、市主催の敬老会に参加している。 法人系列の病院の待合室で行われる合同芸術展示会に利用者が制作した作品を出展するとともに、利用者は展示会に出かけて地域の人々と交流している。 毎月第3日曜日に行う誕生会には、フラダンスや舞踊、手品、歌を披露してくれるボランティアを受け入れ、地域とつながりながら暮らせるよう支援している。 事業所の敬老会には隣接する同一法人の保育園児や家族等、区長、民生委員などを招待し、地域との交流に努めている。 毎週日曜日に清掃活動を行っているが、利用者の高齢化に伴い職員のみが事業所周辺の道路の清掃をし、事業所自体が地域の一員となれるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入所者様や御家族様に、信頼をされ喜んで頂ける事を通して、地域の皆様にも選んで頂ける施設を目指しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、入所者様の代表、入所者ご家族の代表、市の職員、民生委員、学識経験者、施設職員で構成され、入所者の生活状況や行事の報告、催しごとの見学会等を通して、委員の方のご意見を戴きまして、サービスの向上に努めております。	運営推進会議は利用者や家族等、市担当者、長年福祉業務に関わった人や元教育者の学識経験者、民生委員、管理者、職員で、24年度は3月に1回だけ開催しているが、25年度は2ヶ月に1回開催できるよう話し合っている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、多くの人の参加が得られる工夫をするとともに、出た意見等をサービスの質の向上に活かすことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者様には指導ご援助を頂いております。毎月のような認定調査や、オムツ等に対するご援助を頂いております。また介護相談員さんの派遣等を頂いております	管理者は要介護更新認定の申請などで毎週市役所を訪れ、市担当者に空き情報や利用者の普段の生活状況、事業所の実情などを伝えるとともに、市担当者からは郵送で介護保険制度の改正や研修などの情報を得ている。 生活保護を受給している利用者が使用している車いすが古くなった事を市担当者に相談すると、補助金を利用して購入することができるよう対応してくれたり、年2回状況調査に来訪して利用者と面談を行うなど、協力関係を築いている。 月1回市の介護相談員が来訪している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束や行動の抑制を禁止しております。玄関・サッシ等も危険と判断する場合を除き施錠せず、何時でも出入りが出来るようにしております。	身体拘束や行動制限を行わないことを契約書に明記するとともに、全職員が身体拘束の内容と弊害を理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケに取り組んでいる。 「身体拘束禁止の対象となる具体的な行為」のポスターを事務所に掲示し、職員に意識付けをしている。 職員が市社会福祉協議会や同一法人主催の「虐待防止に関する施設の対応」や「身体拘束をしないケア」などの研修で得た情報を連絡ノートを活用しながら全職員で確認したり、ユニット毎に研修を実施し、全職員で共有しながら身体拘束をしないケアに結び付けている。 現在は身体拘束をしている利用者はいないが、医師の診断によりやむを得ず身体拘束をする場合に備え、「身体拘束に関する説明書」や「経過記録」、「検討記録」などの書類を整備するまでには至っていない。	やむを得ず身体拘束をする場合に備えて「身体拘束に関する説明書」や「経過記録」、「検討記録」などの書類を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に人権擁護を基本に、全職員で虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	傘下法人で、権利擁護等に関する講習会を行っております。市役所等からも情報を戴き権利擁護が守られるように対応して参ります。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に文書や口頭で説明し、納得の上で契約していただいております。又解約される時には今後のサービスの利用法などを紹介しております。家族の方が納得した介護が受けられるように協力させて頂きます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口と担当者を配置する事や、第三者委員の設置と外部苦情申し立て機関が設けられております。ご家族等の声を大切に、併せてご意見が出せる雰囲気造りに努めます。	管理者や職員は利用者との日々の会話の中から意見や要望を聴いているほか、家族等の面会時に意見等を聴く機会を設けている。 利用者から「カラオケの装置が3ユニットに1台だけなので、いつでもカラオケができるようユニット毎に設置して欲しい」との要望を受け、ユニット毎に設置している。 家族等から意見や要望が出易くなるよう毎月事業所便りで利用者の様子を伝えるとともに、家族等の来訪を呼びかけたり、誕生会や敬老会などの行事予定を掲載して参加を働きかけているため、毎日多くの家族等が来訪しており、来訪時に話を聴いて意見や要望を汲みあげている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議や、ユニットごとの会議により、意見交換を行い、提案された意見の検討により運営に役立てて参ります。	管理者は毎月の職員会議やユニット毎の会議時に職員から意見や提案を聴く機会を設けるとともに、休憩時にコミュニケーションを図るなど、日頃から何でも言い合える関係づくりに努めている。 職員から「長年使用してきたガス台や掃除機の買い替え」や「事業所便りや資料作成に使用する両面カラーコピー機の購入」のほか、「購入したばかりのテレビを誤って壊してしまったので再度テレビを購入したい」との要望を受け、管理者は運営者に相談してそれぞれの物品を購入している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内や外部で開催される研修等に参加し、スキルアップに努めております。施設内においても勤務し易い職場環境づくりに努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内には、研修委員会が設置されており、それぞれの段階に応じた研修を受講しております。施設内においても随時勉強会を開催し相互の研鑽に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県の地域密着型介護サービス協議会に加入し、グループホーム研究大会等への参加により、交流や意見交換を図っております。又法人内には多種の関連施設があり、研修会や情報交換の機会があります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に施設見学会をして頂いたり、自宅や病院等の施設で本人や、ご家族等と面談をし現状や困りごと等の把握に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の気持ちを思いやり、これまでの介護の労をねぎらいながら面接に望みます。現状や困りごとを把握し、利用者様にも施設を見学して頂くことにより、不安な気持ちを取り除くようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用前の面接時に、施設の概要やサービスの内容を説明するときに、この施設でいいのか、他のサービスを受けたほうがいいのかを伺い、他のサービスを希望する場合は、他の施設等につなぐようにしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は日々の生活の中で、利用者の過去の生活の経験や習慣等から学ぶ事が多々あります。利用者様も慶んで過去の経験などを話してくれ信頼関係が深まって参ります。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常の生活状況は、里便りや、近況報告により又必要に応じては電話等で連絡をしております。面会時に起きましても近況をお伝えしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会・外出・外泊も出来るだけ自由にし、良好な関係が保たれるようにしております。	職員は利用者が入居前から訪れていた福祉館や図書館がある複合施設のほか、桜や菊の花が美しい場所など、利用者の馴染みの場所に行けるよう同行している。 職員は遠方でも家族等の協力を得て外出ができるよう、利用者の希望を家族等に伝えている。 家族等の協力を得ながら利用者の馴染みの店での買い物や美容室などへの外出のほか、自宅への外泊などを支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、個別なかかわりを見守り、そして支援することにより孤立化しないように努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、病院等に入院・入所されても施設訪問をし、相談事があれば相談に応じるようにしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者や家族、関係者から利用にいたる経過を把握し、ケアプランに取り入れております。それが困難な場合は、利用者の立場になり考えております。	職員は日々の生活の中で利用者と会話を交わしたり、利用者のつぶやきから思いや意向を把握している。 職員は思いを表出できない利用者には、利用者の興味のある事を一度に聴くのではなく、段階的に話を進めながら表情や反応を観察するとともに、入居時のアセスメントを活用したり、家族等から話を聴いて思いや意向の把握に努め、管理者や職員で検討している。 把握した内容は朝礼時や終礼時に報告するとともに、全職員が必ず確認する連絡ノートと個人ファイルに記録し、全職員で共有している。 カラオケやぬり絵、編み物、読書、書道、折り紙など、利用者がやりたい時にやりたいことをして過ごせるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前調査をし、これまでの生活歴等から把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人らしく生活して頂く事を基本にアセスメントシートを作成し、心身の状況を記録し現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月会議を開き、利用者・家族の意向や職員の考え方を踏まえて、現状にあった介護計画を作成しております。作成した介護計画は家族にも説明し同意を頂いております。	利用者一人ひとりの担当職員が把握した利用者の意見や要望のほか、家族等や主治医の意見等を取り入れて介護計画を作成している。 毎月モニタリングを実施して3ヶ月から6ヶ月毎に介護計画を見直し、利用者や家族等の確認を得ている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメントシート、ケース記録は各人ごとにファイリングしております。その他に申し送りノート作成し、情報を共有化し介護に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その人らしく生活をしていただく事が基本です。法人傘下の事業者が多数あり、それらの支援も頂けますので、柔軟なサービスが提供出来ていると考えております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や、介護相談委員との情報交換により、地域資源の把握に努めております。行政等との密な交流により地域資源の活用に努めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を聞き、継続した医療が受けられるよう支援しています。又希望に応じて歯科・眼科の訪問診療が受けられる支援体制が出来ています。	入居時に利用者や家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医への受診を支援するとともに、協力医療機関への受診も支援している。 かかりつけ医への受診は家族等の付添いを基本とし、受診の時には職員が利用者の体調など気付いたことをメモに記入し、家族等から医師に渡してもらっている。 受診結果は立ち話ではなく、必ず事業所でゆっくり話を聞き、個人ファイルと連絡ノートに記録して全職員で共有している。 職員は毎月1回協力医療機関への定期受診を支援し、受診結果は家族等に電話や来訪時に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ病院・協力病院と連携し相談をしたり、日々の健康管理に努めながら、受診や処置をして頂いております。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、日々の生活状況を説明し、入院中は様子を見に伺い、本人、家族、医療機関との話し合いのうえで対応しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の処し方は、家族等の意思を確認し、医療機関と共に取り組んでおります。	事業所は看取りを行う方針で、「看取りに関する指針」や「同意書」などの書類を整備し、契約時に利用者や家族等に説明しているが、書面で同意を得るまでには至っていない。 「看取りに関する指針」の中に職種毎の役割を記載しているが、詳細なマニュアルではなく、研修などが行われていないので、全職員に周知するまでに至っていない。	前年度の外部評価結果でも課題にあがったが 契約時に事業所の看取りに関する指針を説明した際には、書面で利用者や家族等の同意を得ることを期待する。 また、重度化や終末期の対応マニュアルを作成するとともに研修を行い、全職員に理解を図ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人において、上級救命講習会を全職員が受講し、AEDの取り扱い技能を修得しております。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の協力を得て、消火・避難訓練を実施しております。又毎月避難誘導訓練を実施しております。災害時等に地域の皆様の協力が頂ける様に消防団に協力を依頼しております。	年2回消火訓練と避難訓練を実施するとともに、毎月避難誘導の訓練をしている。 避難訓練の実施記録を作成して今後の課題などを話し合っているが、事業所の周りには住宅がないことから、近隣住民の参加は得られていない。 各ユニットにベルトポーチやメガホン、ろうそく、ラジオ、懐中電灯、夜光ロープなどが入った防災セットを準備するとともに、水や缶パン、粉粥、紙おむつ、リハビリパンツなどを備蓄してリストを作成している。 非常時には事業所の備蓄に加え、事業所から車で5分程にある運営母体から水や缶詰、食糧、紙おむつ、リハビリパンツなどの物資が届くことになっている。	運営推進会議で話し合い、地域の人々や地元の消防団などに避難訓練への参加を働きかけるとともに、協力体制を構築することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーに配慮し優しく接するようしております。個人情報の取り扱いについては、個人情報に関する指針に沿って、家族の同意の下に記録等は保管しております。	職員は利用者一人ひとりの生活歴や性格を把握したうえで言葉遣いに配慮しながら人格を尊重した対応に努めている。 職員は排泄介助時には利用者に小声で声をかけ、気配りしながらトイレ誘導するなど、利用者の人格を尊重した対応に努めている。 契約時に利用者や家族等から個人情報使用の同意を得ているほか、個人ファイルは事務所の鍵のかかるロッカーに保管し、情報漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が理解できるような話し方で、思いや希望が叶うように支援しております。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースで生活ができる様、又本人がやりたい事を出来るだけやれるよう支援しております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみが出来る様に支援しております。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は同じテーブルで、会話をしながら召し上がって頂いております。又食べこぼし等のサポートはさり気なく行っております。	利用者はできる範囲で配膳や後片付けを行っている。 献立は同一法人の介護老人保健施設の栄養士が作成し、職員が調理して利用者の健康に配慮した食事となっているが、利用者の嫌いな献立の時は家族等が持参した代替品を出したり、利用者の健康状態に応じて献立を替えているほか、刻み食やミキサー食にして食べ易くなるよう工夫している。 職員は利用者と同じテーブルを囲み会話をしながら楽しく食事ができるよう支援している。 正月や雛祭り、敬老会、クリスマス会、誕生会などの行事の時には特別食を提供するとともに、ケーキや赤飯、紅白まんじゅうなどで祝うなど、利用者の楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立が出来ており、摂取量はアセスメントに記録しております。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のうがいを進めております。出来ない方や不十分な方は介助にて行っております。入れ歯を使用している方は毎晩洗浄をしております。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録や、アセスメントシートを活用し、個々の状況を把握し、羞恥心に配慮した声掛けや介助を行っております。オムツを利用していてもトイレ利用を促し、排泄の自立に向けた支援をしております。	職員は排泄チェック表を活用して利用者の排泄パターンを把握し、利用者一人ひとりのタイミングに合わせてトイレ誘導をするとともに、パッドやリハビリパンツを活用したり、居室にポータブルトイレを配置し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。 職員は利用者が失敗した場合は周囲に気付かれないよう居室や風呂場に誘導し、利用者の自尊心を傷つけないように配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足と運動不足にならないように配慮し、腹部マッサージなどの対応をしております。便秘が続く場合は、医師の指導による下剤の服用等個々に応じた対応に心がけております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの体調や希望に応じた入浴の支援をしております。入浴記録票を活用し入浴拒否者への対応や、体調不良時の清拭等個別に対応しております。又入浴剤を活用し、気持ちよく入浴して頂けるように心がけております。	入浴は基本的に週3回から4回となっているが、利用者の希望にそって毎日の入浴も可能となっている。入浴を拒む利用者には無理強いせず、「背中に薬を塗りましょう」とさりげなく風呂場まで誘導したり、「温泉に入りましょう」と声かけをしながら入浴ができるよう支援している。美容師の免許を持つ職員が入浴時に利用者の髪を染めている。近隣の温泉地から温泉水を貰ってきたり、柚子湯にして季節感を味わうなど、入浴が利用者の楽しみとなるよう工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の馴染みのある家具などを使用して頂くなど、日常的に安定した穏やかな心身状態が保たれるような環境に配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は、病院から頂いた薬状書をもとにチェックしています。投薬ミスや飲みのがしが無い様に細心の注意を払い対応しております。服薬後の確認は職員2名で行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を基に、能力に応じた役割などで、日常生活が楽しめるようにしております。日々のクラブ活動でのカラオケ・習字・塗り絵等個々の趣味に応じた楽しみが出来る様にしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、散歩をするなど外気欲を行っております。季節ごとのお花見やドライブ、地域のお祭り等季節に合わせた行事に参加しております。	天気の良い日には、職員が利用者に寄り添い、季節を肌で感じながら事業所周辺を散歩している。職員は利用者の希望を聴きながら外出の年間計画を立て、ユニット毎に数回に分かれて風車見学のほか、桜やチューリップなど季節の花見に出かけられるよう支援しており、利用者の楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じて、一緒に買物をする事で対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの要請で対応しております。自ら対応できない方は、職員が代行しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	隣接している保育園の園庭を囲むように建物が3棟配置され、どのユニットのリビングからも園児の遊ぶ姿が見る事が出来、利用者の目を楽しませている。又花壇には季節ごとに草花が栽培されております。リビングには利用者の写真や、クラブ活動の作品が展示されています。	自然光や外気を取り入れられるよう、中庭に出られる大きな窓を居間に設置しており、職員は換気や温度調節をして利用者が快適に過ごせるよう配慮しているほか、居心地よく過ごせるよう窓の脇にソファとテレビを設置している。居間の壁に行事の写真や利用者が制作した季節の作品が飾られ、季節が感じられるよう工夫をしている。廊下は車いす同志がすれ違える広さで、天気の悪い日は歩行運動に活用している。洗面所のほかにも各ユニットの入口脇に洗面台を設置しているほか、畳の家事談話室があり、洗濯物をたたんだり、足を伸ばしたり、洗面時に疲れた時は腰を下ろせるなど、工夫がされている。居間の壁や廊下、トイレ、風呂場には手すりが設置され、利用者の安心につながっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日当たりが良く、園児の遊ぶ姿など外の風景が良く見えます。個室も自由に使えますし、リビングにはテレビやソファが自由に使えるように配慮されています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族と相談し、自宅で使用していた物を置くなど安心して生活出来る様にしております。その人らしい居室造りに心がけております。	居室にはエアコンやベッド、整理箆筒、カーテン、スタンド照明などが備え付けられている。利用者は家族等と相談しながら使い慣れた箆筒や整理箱、椅子、ラジオ、テレビ、裁縫箱、観葉植物、家族の写真など、思い思いの物品を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで、各所に手摺が設置されております。又利用者一人ひとりが自立した生活出来る様配慮しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム千代田の里

作成日 平成25年7月1日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	年6回の定期開催	1回目の開催で隔月開催了解される	直ちに
2	35	災害対策	地元消防団との協力関係の構築	地元役員さんとの協議開催	直ちに
3	6	身体拘束をしないケアの実践	拘束をせざる得ない場合の対応	書類の整備	早急に
4	33	終末期等に向けた方針の共有	同意書等書類に家族の同意を	職員研修と家族の同意を得る	早急に
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。